



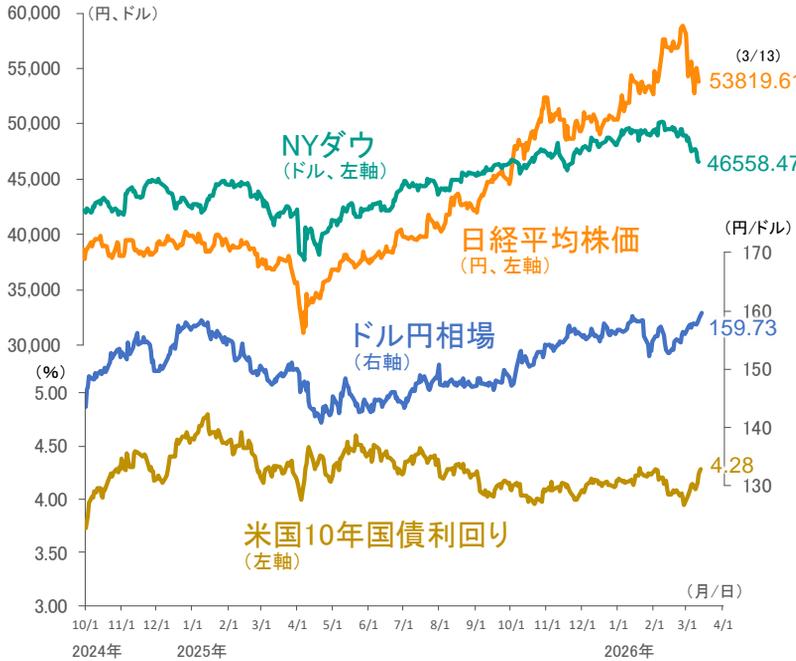
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.3.16

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、イラン情勢を巡る混乱と原油価格の上昇が長期化するとの懸念が強まり、株式・債券ともに続落しました。週間騰落率はNYダウが▲2.0%、ナスダック総合指数は▲1.3%、独DAX指数は▲0.6%、日経平均株価は▲3.2%で終わりました。10年国債利回りは米国が前週末比+14bpの4.28%と6週ぶりの高水準、ドイツは同+12bpの2.98%、日本は同+9bpの2.26%に上昇しました。ドル円相場は159円73銭と2024年7月以来の円安・ドル高水準、WTI期近は前週末比+8.6%の98.7ドル/バレルに上昇しました。

今週も、イラン情勢と原油価格の動向が焦点となります。一方、主要国の金融政策決定会合が相次いで開催されます。日銀・FRB・ECB・英中銀は政策金利の据え置きが予想される一方、豪州は2会合連続となる0.25%の利上げが5割強の確率で市場で織り込まれています。原油高によるインフレ高進と成長鈍化の両リスクに対し、各中銀がどのような見解を示すか注目されます。

当面の注目イベント

- ◆ 豪・準備銀行金融政策理事会 (17日)
- ◆ 米・FOMC (17-18日)
- ◆ 日・日銀金融政策決定会合 (18-19日)
- ◆ 欧・ECB理事会 (18-19日)
- ◆ 英・イングランド銀行金融政策委員会 (19日)
- ◆ 日米首脳会談(ワシントン) (19日)

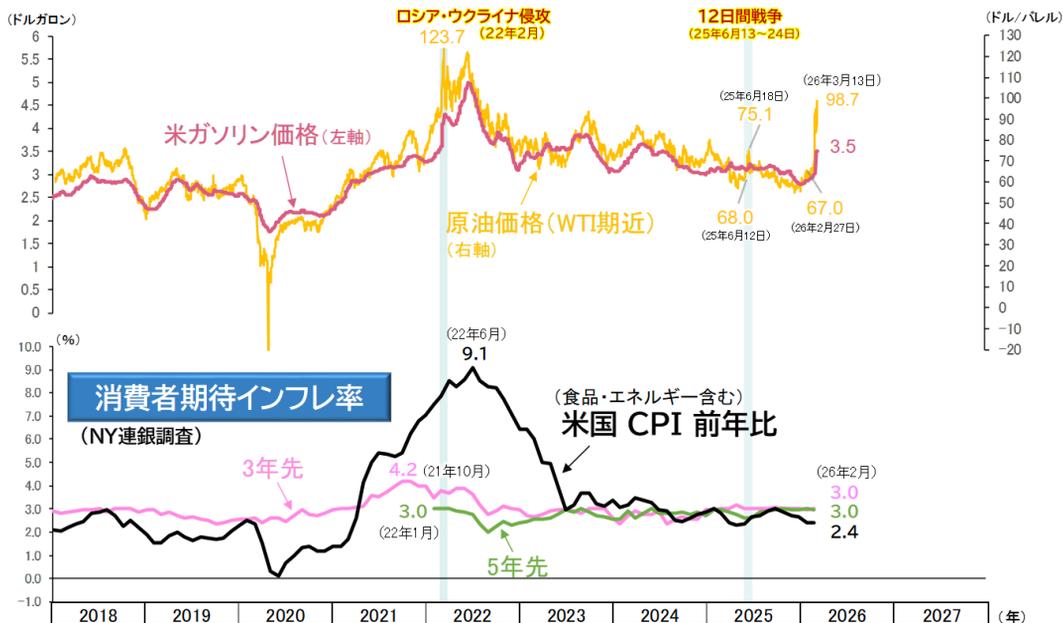
S&P500指数の先週末引値は6632.19ポイントで1月27日につけた最高値6978.60ポイントから▲5%の調整となりました。下値抵抗線として市場が注目する200日移動平均線水準(13日時点 6604ポイント)が維持されるか注目されます



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

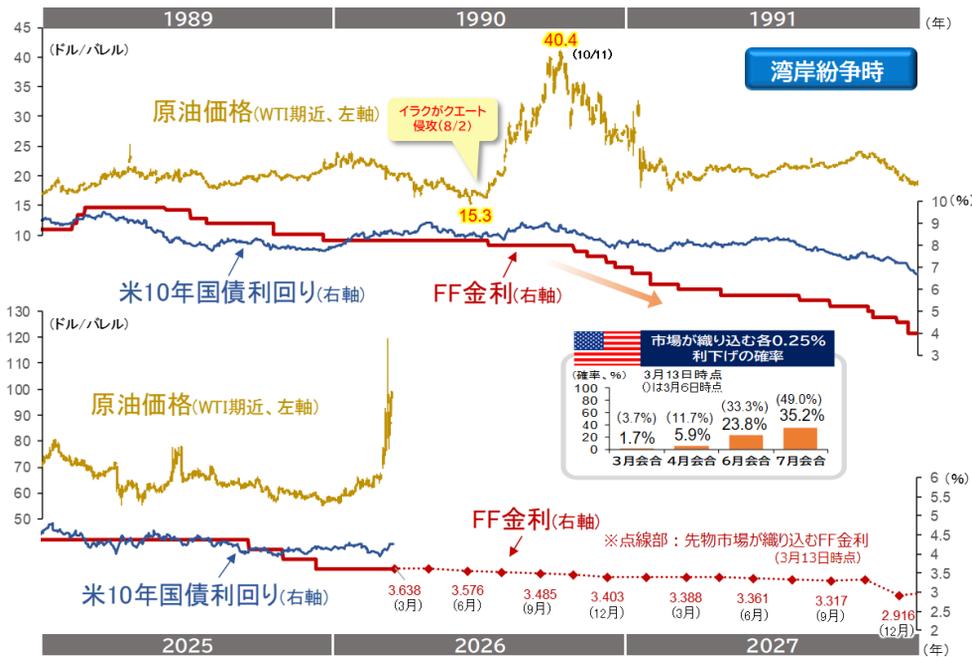
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

FRBは原油価格高騰の影響を判断する際、消費者の長期期待インフレ率を重視します。原油価格が高止まりする場合でも、同指標が低位安定していれば、雇用市場の動向次第で利下げに踏み切る可能性があります



【出所】ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

1990年に勃発した“湾岸紛争”の際、FRBは雇用悪化に対応して利下げを実施しました。この先、雇用市場の軟化が進んだ場合、長期期待インフレ率の安定を確認した上で、FRBは利下げを再開すると予想されます



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年3月23日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡す「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。